

## 第27回ERL検討会議事メモ

日時：2008年11月25日 9:30-

場所：PF2階会議室

参加者：PF会場 河田、佐藤（康）、細山、三橋、中村(ISSP)、小林、本田（洋）  
長橋、谷本、阪井(ISSP)、武藤、多田野、梅森、沢村(JAEA)、  
島田、古屋、宮島、坂中、菊澤、春日

JAEA会場 羽島、永井、西森、飯島

ISSP会場 工藤、高木、渋谷

IMS会場

SPring8会場 花木、中里

広大会場

(各報告についてはWeb参照のこと) \*掲載許可済みの資料を順次掲載。

(以下敬称略)

### I. 建物、設備の検討状況 (芳賀、坂中)

・東カウンターホールの改修および、電力設備・冷却水設備整備の検討状況について報告があった。

Q:クライストロン冷却水の温度安定度が $30^{\circ}\text{C}\pm 1^{\circ}\text{C}$ では甘いのではないか。Linacの見地から言えば $0.1^{\circ}\text{C}$ の安定度がほしい。

A:Low level系で安定化できるのではないか。必要ならより安定度の高い冷却水系を使うこともできる。安定度が必要なことは理解している。

Q:側室（東カウンターホールの北側に接した3階建ての部分）の2階のヘリウム冷凍機制御室が本当に必要か。

A:必要である。

Q:コントロール室(約14m x 6.3m)と制御サーバー室(約10m x 6.3m)の面積配分は良いのか？後で間仕切りを変更するのは困難であろう。

A:サーバー室はそれほど必要でないと考えている。

Q:施設部は現在の床から約10cm高くしたOAフロアを提案している。ちょっとしたケーブルは引ける。フリーアクセスにすると、天井高さが現在の2.5mからさらに低くなってしまふ。配線はケーブルラックを併用する。

Q:床下スペースは正味10cmなのか。居住性は犠牲になるがサーバー室にはフリーアクセスが必要なのではないか。

A:ケーブルラックを用いる。

Q:OAフロア下のケーブルの冷却はどうするのか。

A:基本的には床下配線は弱電用である。

C:OAフロアでも、外部廊下との間に高さの差ができる。

C:ケーブル引き回しを検討するコントロール関係者のミニWGを作りたい。

・東カウンターホール内の配置の提案があった。cERLのシールド壁内は今までのものより広がっているが、これは2ターンが可能となるようにしたためである。細部については担当グループとのすりあわせが必要。

C:ビームダンプ部が側室側にあるのが、放射線レベルの観点からは反対側の方が良いのではないか。

C:その場合は、冷凍機CERL間の配管等が不便になる。冷凍機設備をcERL本体の南側に置くのも不便である。

C:天井の上にモニター関連機器がのることを考慮しておくべきだ。

## 2. 冷凍機設備の検討状況（細山）

・冷凍機設備整備の検討状況、スケジュールの報告があった。

Q:Heガスの戻り用配管の太さはどの程度になるのか。

A:Heの粘性低いので、100W クラスでは太さは問題とならないだろう。1kWクラスになると問題となるだろうが。

Q:二次補正での導入があるかもしれない新冷凍機のスペースは考慮されているか。

A:狭いが、検討中のスペース（20m x 10m、資料参照）に入れるつもりである。

Q:縦測定のスペースは考慮されているが、横測定はどうするのか。

A:cERL本体のシールド壁内を考えている。

Q:排気ポンプの防振をどうするのか。

A:かなりの防振をするつもりである。それでも問題となる場合は東カウンターホールの外に出す。

C:東カウンターホールの床が完成しないうちに組み立てをしなければならないかもしれない。その場合、別場所での組み立ても考慮する。

C:cERL本体のシールド壁工事が後になるかもしれないが、テントハウスのようなもので養生すればよい。そのとき運転はできない。

C:2kW（新）冷凍機の電源は後に増設する。

Q:移管した冷凍機はいつ持ち込めるのか。

A:早い方が良い。事前にテストをしたい。

Q:高圧ガス申請は何時するのか。

A:2009年4月頃である。

Q:コンプレッサーと冷凍機の配管は建物のからみとして問題とならないか。

A:1m x 1mのスペースでOKであろう。施設部と話し合っている。

Q:東カウンターホール北側の圧縮機が設置してある建物(24m x 11m)の現使用者との話し合いはどうか。

A:話し合いが行われている。現アクティビティの一部は残してほしいと思っているようだ。

Q:高圧ガス設備完成時にcERL本体のシールド壁は完成していないが。

A:問題ない。

## 3. cERLの建設打ち合わせ（佐藤）

・表記打ち合わせを立ち上げた。議事内容、次回以降の予定についての報告があった。

Q:議事メモを出すのか。

A:議事メモ、資料を公表する。

Q:利用側の責任者は誰か。

A:まだ本人の了解を取っていないが足立氏か平野氏を考えている。

C:資料に” Solenoidは今年度中に製作したいのでできれば2月までに決めたい” とあるが  
” 来年度の製作のため今年度（今年？）中に契約しなければならない” が正しい。

#### 4. 推進室報告（河田）

- ・ ERL推進室の活動について報告があった。
- ・ 二次補正に関して議論があった。

#### <要請>

- ・ 東カウンターホールでの必要電力、冷却水、空調設備の調査を行っている。引き続き協力を願いたい。

次回 12月12日（金）14：00－  
第28回 ERL検討会

（春日記）